

# 第二十一回帝國議會衆議院 鐵道抵當法案委員會會議錄

(筆記) 第一回

明治二十八年二月二十一日議長ノ指名ヲ以テ本委員十八名ヲ選定ス其ノ氏名左ノ如シ

委員成立  
右内君 毛里 保太郎君 恒松 隆慶君  
福岡 精一君 與三郎君 竹越  
伊藤 德太郎君 利八君 內藤  
神崎 東藏君 安念次左衛門君 東尾  
奥田 義人君 平太郎君 佐竹 作太郎君  
小田 貫一君 板東 勘五郎君 岡田 治衛武君  
其ノ氏名左ノ如シ

明治二十八年二月二十二日午前十時三十分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス  
望月 右内君 毛里 保太郎君 恒松 隆慶君  
福岡 精一君 與三郎君 竹越  
安念次左衛門君 奥田 義人君 小田 貫一君  
松本 恒之助君 内藤 利八君 佐竹 作太郎君  
岡田 治衛武君 板東 勘五郎君

年長者佐竹作太郎君投票管理者トナル

○投票管理人者佐竹作太郎君 是ヨリ委員長理事ノ選舉ヲ行ヒマス

○竹越與三郎君 私ハ投票ヲ用ヰズシテ 望月右内君ヲ委員長ニ推薦シ理事ハ二名  
トシテ委員長ノ指名ニ願ヒタイト思ヒマスカ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○投票管理人者佐竹作太郎君 夫レテ御異議ガアリマセネバ其通ニ決シマス

○委員長望月右内君 夫レデハ理事ヲ指名イタシマス、理事ハ神崎東藏君恒松隆慶

君ノ御兩君ニ御頼ミイタシマス

○委員長望月右内君 是レヨリ引續キ會議ヲ開キマス

會議

出席國務大臣左ノ如シ

法學博士

出席政府委員左ノ如シ

法制局參事官

遞信大臣 大浦 兼武君

遞信省鐵道局長 山之内 一次君

鐵道抵當法案

委員長望月右内君

ソレデハ是ヨリ會ヲ開キマスデゴザイマス——遞信大臣

委員長望月右内君

大浦兼武君 大體ヲ私カラ一應申上ゲマス、昨日本會ニ於テ極ク大體ノ

趣意ヲ陳述シテ置キマシタガ、御承知ノ通り現行私設鐵道法ノ三十條ニ於テ、鐵道及之ニ屬スル物件ヲ抵當トシテ負債ヲスルト云フコトハ、即チ其三十條ニ於テ、主務大臣ノ認可ヲ受ケレバ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、ケレドモ甚ダ不完全デアリマスカラ、イト云フノデゴザイマス、貴族院ニ於テ數十時間審議サレマシテ、此御手許ニアルトコロノ法案ノ、黒イ棒ヲ引張ツテゴザリマスルトコロハ、貴族院ノ修正デゴザリマシテ、殆ド一箇條トシテ手ノ着カヌモノハナイ位ニ修正ニナリマシタ、其修正ハ豫定登記ヲ止メマシタ、之ヲ止メルト云フコトハ、鐵道ノ敷地ニ於テ之ヲ前ノ法案ノ通りニスルト餘程手數が掛ル、一鐵道會社ニハ何萬ト云フ筆數ガアルカラ、之ヲ以テ財團ノ設定ヲ請フマデニ至ラヌカラ、之ヲ止メタノデアリマス、是ニハ政府モ同意致シマシテ、此案ヲ衆議院ニ廻スコトニナッタノデアリマス、詰リ元ノ政府ノ案ヨリ貴族院ノ修正サレタトコロハ、即チ私設鐵道會社等ニ於テハ、簡便ニシテ其目的ヲ達シ易イ譯ニナツテ居リマス、先以テ重ナル箇條ハ豫定登記ヲ止メルト云フ影響デ、數十箇所修正ニナリマシタ、ソレカラ其中ニチヨックト大キナコトハ修正ノ二十六條ニ、十箇年ヲ二十箇年トスル、此議論ガ大キナ關係ガアルノデゴザイマス、是ハ即チ長イ程ガ、若シ外資ヲ入レルトキハ長イダケニ便利デアルト云フ議論デ、是ハ十年ヲ二十年トシタノデ、是モ政府ハ同意致シマシタ、先ツ大體ノ趣意ハ今陳述シタ通りアリマス

○板東勘五郎君 唯今ノ御説明ニ依ツテ、本案ノ大體ノコトハ了承致シマシタ、此法案ハ今日必要ト認メテ居リマスガ、一應大體ニ就キテ承リタイノハ、豫定登記ノコトデアリマスガ、是ハ事實ニ於テ政府カラ出サレタトキニ、餘程難儀ナ取扱ニ屬スルトテ居リマシタガ、貴族院ノ説明ヲ承ルト、豫定登記ヲ以テ抵當權ノ確實ナル保證ヲ爲シテ、是ト一般ノ財團ノ登録トデ、彼是相俟ツテ抵當法案ニ對スル効力ヲ完ウスルト云フ説明デアル、思フニ此案ヲ作ルニ付イテハ餘程御苦心ノ結果ト思ヒマスガ、唯今ノ説明ニ依ルト、貴族院ノ修正ハ以前ヨリ簡便ナコト、思ヒマス、果シテ然ラバ此案ニ就イテハ、唯簡便ニナッタ云フダケデ、將來實行上諸般ノ法律ノ關係上、抵當權設定ノ關係、及結果ニ於テ、イロイロノ議論ハ生ズルコトハナイデアラウカト云フコトハ、是マテ政府ガ立案ノ上ニ於テ苦心セラレタ上カラ云フト、安心が仕惡イト思ヒマスガ、ソレ等ハ如何デス

○政府委員一木喜德郎君 豫定登記ニ付イテ貴族院ノ修正ヲ加ヘラレタ次第ハ、板東君ガ述ベラレ通リテアリマス、政府ガ立案シタ當時ハ、餘程苦心ヲシタノデアリマス、一面ハ鐵道財團ヲ確實ナルモト認メ、一面ハ鐵道財團ヲ設定スル前ニ、之ニ對シテ権利ヲ持ツテ居ル者ノ権利ヲ確實ニスルタメニ、豫定登記ト云フモノヲ設ケタノデアリマス、貴族院ニ於テ段々議論ノ起リマシタノハ、寧ロ實際論アリマシテ、私設鐵道ノ用地ノ筆數ガ至ラテ多イ、ソレハ遞信大臣カラ述ベラレ通テアリマシテ、尙實際ニ就イテ

申シマスルト、實ニ筆數ノ細カイモノデアル、例ヘバ日本鐵道會社ノ如キハ五萬七千、山陽鐵道ハ四萬五千、關西鐵道ハ二萬四千、北越鐵道ガ一萬四千、九州鐵道ガ四萬七千、是位ノ筆數ニナツテ居リマス、此表ヲ立テマスル際ニ、之ニ伴フテ筆數ヲ減少スル方法ヲ攻究スル必要ハ是非アラウト考ヘテ居リマシタ、ケレドモ筆數ヲ減少スルニシテモ、ヤハリ手數ノ要ルコトデ、兎ニ角手數ノ掛カルコトハ避クヘカラザルコト、考ヘテ居リマシタ、併ナガラ現ニ土地ニ付キマシテハ、登記ノ法ガアリ、建物ニ付イテモ登記ノ法ガアリマスカラ、其方トノ聯絡ヲ附ケマスノハ、豫定登記ト云フヤウナ方法ニ依ルノガ、筋ガ立ツテ居ルト認メテ、原案ヲ提出致シマシタガ、貴族院デハ實際論カラ是ダケノ筆數ノモノヲ一々豫定登記ヲシ、其外建物ハ——是モ數ヲ舉ゲテ見マスルト、日本鐵道ハ棟數三千九百九十九ト云フヤウナ數ニナツテ居リマシテ、九州鐵道ハ一千二百三十九デアル、此夥シイ數ノ不動產ヲ一々登記ヲスルト云フコトハ、容易ナラヌ手數ニアシテ、之ガタメニ折角此法案が提出サレ、通過サレテモ、此時局ニ對シテ外資ヲ輸入スル目的ヲ達セントスルニハ、手續が面倒アルガタメニ遂ニ其用ヲナサムト云フコトニナリハシナイカトナラバ宜カラウト云フコトデ、種々方法ヲ攻究致シマシタ、ソレデ貴族院ノ研究ノ結果之ニ代ルベキ法案トシテ提出サレマシタトコロノ案ハ、即チ此修正ノ第八條ニ規定シテアルノアリマス、是ハ原案ニ於キマシテハ、動產ニ關シテノミ適用スル考デアリマシタガ、現ニ華族ノ世襲財產ヲ定ムルニモ、ヤハリ此手續ニ依ツテ往クコトヲ現行法ヲ認メラレウカ、之ヲマルデ止メテ、其儘ト云フコトハ惡ルイカ知ラヌガ、之ニ代ハルベキ法案ガアッタナラバ宜カラウト云フコトデ、政府モ同意ヲ表スルコトニ至リマシタノデアリマス既ニ動產ニ付イテ其法ヲ用井ルナレバ、不動產ニ付イテモ此法ヲ用井テモ宜シクハナイカ、現ニ華族ノ世襲財產ヲ定ムルニモ、ヤハリ此手續ニ依ツテ往クコトヲ現行法ヲ認メラレテ居リマスカラ、此法案ヲ以テシタナラバ、簡便一シテ而カモ實際ニ格別支障ヲ生ジナイダラウト云フ貴族院ノ意見デ、政府ニ於テモ段々攻究ノ結果、此法案ヲ以テ代ハマシタナラバ、豫定登記ニ比較シテ何レガ確實カト云ヘバ、豫定登記ノ方が宜イカ知レマセヌガ、實際ニ於テハ不便ヲ避ケルタメニハ、此方法ヲ採リマシタナラバ、雙方ノ目的ヲ達シ得ラレルデアラウト云フコトデ、政府モ同意ヲ表スルコトニ至リマシタノデアリマス○岡田治衛武君 質問ノ起ル以前ニ於テノ質問ヲ一ツ致シタイ、是ハ諸君ニモ御讓リ下スシテ戴キタイ、私ハ此總則ニ於テ御尋致シタイノデ、第一條ニ於テ一本法ニ於テ會社ト稱スルハ私設鐵道株式會社ヲ謂フ「トアリマス、此儀ニ付キマシテ、昨日本會ニ於テ、本案ニ付イテ質問ヲ起シマシタガ、一本政府委員ノ答辯ハ、實ニ本員ニ於テハ誠ニ不親切千万ノ答辯ト私ハ思フノデ、此委員會ハドウツ政府委員モ胸襟ヲ開イテ、ア、云フ無責任ノ御答辯ノナイヤウニ注意ヲ致シマス、是ハドウツ御承知ヲ願ヒタイ、是ハ委員諸君ハ別段御承知ハゴザイマセヌガ、此所ハ委員會デスカラ、或程度マデハ是マデノ行道ナルモノハ、鐵道ト見做サヌノアルカト云フト、決シテ見做サヌコトハアルマイ、既ニ名稱モ電氣鐵道、殊ニ私設鐵道ガ——今日ノ現況デハ私設鐵道ガ多イ、所謂汽罐車鐵道ト電氣鐵道トノ分類ヲナス積デアルカ、又是ニ電氣鐵道ヲモ含蓄シテ居ルヤ否ヤト云フ

議院議員ニ竊ニ交渉シタコトガアル、是ハ決シテ秘密ノ交渉デハナイ、司法大臣ニ向シテ御尋ヲシテアル、ソレデ入レル積デアツタガ、唯法制局ノ意見デハ、電氣鐵道ハ忘却シタ譯デハナイ——忘レタ譯デハナイ、サウ<sup>二</sup>云フヤウナ考モ腦裏ニアツタガ、是ハ軌道條例ニ依ルモノノデアルカラ、是ニ含蓄スルハムツカシイカラ、別段ニ法律ヲ設ケテ——是ト同一ノモノヲ設ケテ、決シテ不利益ヲ與ヘヌヤウニスル、同一ノ取扱ニスル、其法案ハ本期ト云フコトニモ往クマイガ、來期即チ次ノ通常議會ニハ必ズ出スカラ、ドウゾ貴族院デ修正スルコトガ出來ナケレバ、衆議院デ修正ヲシテ、兩院協議會ヲスルヤウニスルカ知レヌト云フ、意見ヲ述ベタ、併シ強チサウスルモ本員ノ趣意デモナインシ、又本案ノ通過ノ進行ヲ妨げヘルコトハ止シテ貴ヒタイト云フコトデシタ、當時本員ノ見ルトコロデハ、貴族院デ修正スルコトニスルカラ、ソレマデ待ッテ吳レイト云フ御内談テアツタ、然ラバ本員等ハ實ニ待チ惡グイ、一駄電氣鐵道が之ニ加シテ居ラスト云フト、鐵道ノ價値ニ關スルノデ、サウ云フコトヲ待ツノハ甚ダ遺憾千万デアルケレドモ、併シ政府ノ御都合モアルナラバ、已ムヲ得ナイカラ、然レバ本會ニ於テ、コチラカラ質問ヲ發シ、又次期ノ議會ニ必ズ提出スルト云フコレコトニスルカラ、ソレマデ待ッテ吳レイト云フ御内談テアツタ、然ラバ本員等ハ實ニ待チヲ答辯スルト云フナラバ、僅カ一年デアリマスカラ、ソレデハ此處デ修正ヲ加ヘルコトハ止メマセウト云フ交渉が成立シテ居ツタ、ソレデ委員等ハ安心シテ居ツタコロガ、昨朝ニ至ツテ突然サウ云フコトヲ明言スルコトハ出來ヌ、何故ニ明言スルコトが出來ヌカト云フト、實ハ内務大臣ト相談ガシテナカツタカラ、之ヲ明言スルコトハ出來ヌト云フコトデ、契約ヲ背クト云フコトハ甚ダ面白クナイコトデアル、ソレハドウモ吾々ハ今日ニ至ツテ、既ニ衆議院ニ本案ガ廻ツタ今日ニナツテ、サウ云フコトヲ云シテシマウト云フコトハ、俗ニ謂フ恰モベテシニカツタ云フ趣ガアル、併シ政府トシテ吾々ヲ欺クヤウナ不德義ヲ爲ス譯ハアルマイ、内務大臣ニ御交渉云々ハ、ソレハ政府ノ内幕ノ御話デ、内部ノ交渉ノソンナコトヲ口實トシテ、既ニ契約ノ出來タコトヲ明言ラスルコトが出來ヌト云フコトハ、俗ニ謂フ恰モベテシニカツタ云フ意味ヲ是ニ入レタイ、サウスレバ昨日ノ如キ無責任ノ御答モアルマイシ、本員ノデアル、實ニ是ハ極ク不親切ナル御話デアル、併シソレヲ議場デ以テ雙方押合フノモ、ハ最モ取ラザルコト、思フ、故ニ茲デ胸襟ヲ披イテ、願クハ第一條ナリニ電氣鐵道モ包含スルト云フ意味ヲ是ニ入レタイ、サウスレバ昨日ノ如キ無責任ノ御答モアルマイシ、本員等モ満足スル次第アリマスカラ、又是ニドウシテモ挿入が出來ナイト云フコトナラバ、前ニ交渉シタ通ニ、必ズ次期ノ通常議會ニ提出スルト云フコトヲ明言シテ貴ヒタイ、ソレナラバ挿入スルコトハ止メテ宜イガ、若モソレヲ明言スルコトが出來ナイト、ドコマデモ之ヲ擡ぐナサルト云フコトナラバ、已ムヲ得ズ之レヲ委員會ニ諮シテ幸ニ同意ヲ得レバ、此所デ修

正ラスルカモ知レマセヌ、ドウカ此邊ニ付イテハ、十分胸襟ヲ披イテ御相談ヲ致シタイ、決シテ咎ムルノデハナイ

○政府委員 一木喜徳郎君 唯今岡田君カラ段々ノ御説デゴザイマシタガ、岡田君トノ間ノ御話合ノコトハ、是ハヤハリ私ハ内輪ノ所謂對人的の御話ト考ヘテ居ツタノデス、此事ニ付イテ委員諸君ノ前ニ彼は辯解致スコトハ致シマセヌ、併ナガラ此鐵道抵當法ニ於キマシテ、電氣鐵道が加ハツテ居ルヤ否ヤト云フコトハ、此法案ノ説明ト致シテ必要ノコト、考ヘマスカラ、其點ハ一應述ベテ置キタイト思ヒマス、ソレデ此鐵道抵當法案ヲ起案致シマスル際ニハ、唯今岡田君ノ述ベラマシタ如ク、電氣鐵道ヲ如何ニスルカト云フ問題ハ考ヘタノデアリマス、尤モ電氣鐵道ト申シテモ、區別シテ申上ゲナケレバナラヌノデスガ、此私設鐵道法ニ依ヅテ設ケラレテ居リマスル鐵道が、動力ヲ電氣ニシタト云フテモ、別ニ違ヒハナイノデ、必ズ蒸氣、力ニ據ルモノノデナケレバナラヌト云フコトハナイノデアリマス、今御話ノ電氣鐵道ト云フノハ、畢竟軌道條例ニ據ルモノヲ言ハル、ト考ヘマスガ、此私設鐵道法ニ依ルトコロノ私設鐵道ナラバ、無論動力ノ如何ヲ問ハズ、鐵道抵當法ハ是ニ當嵌ル考デアリマス、然ルニ此所ニ電氣鐵道ナリ、馬車鐵道ナリ、軌道條例ニ依ヅテ敷設セラレタル鐵道がアル、サウ云フモノモ固ヨリ此法案ヲ起案致シマスル際ニハ、十分ニ考ヘタノデアリマスガ、此鐵道抵當法中ニ之ヲ入レルト云フコトハ、甚ダ困難デアルト云フコトヲ感ジタノデアリマス、ソレデ其譯ハ第一ニハ、私設鐵道ハ必ズ株式會社デナケレバ敷設シ其營業ヲ行フコトニ、法律デハナツテ居リマス、然ルニ軌道條例ニ據ルモノニ付イテハ別段サウ云フ規定モナインデ、會社ニアツテモ、會社デナクトモ宜シ、又會社モ必シモ株式會社ニ限ラヌヤウニナツテ居リマス、ソレが異ナル點ノ第一デアリマス、ソレカラ尙軌道條例ニ依リマスルト、軌道ノ敷地ハ總テ公共ノ道路敷ニナツテ居ルコトニ付イテハ、餘程趣キヲ異ニシテ居ル、殊ニ監督權ノ關係、ヤウニスルノが必要アリマスノデ、此法ヲ制定スル際ニ、現在ノ私設鐵道法ノ規定ニ照シマシテ、ソレトシテ、相關聯シテ働イテ往クヤウニ規定シタノデアリマス、斯ウ云フ工合ニ規定スルニ付イテ、軌道條例ニ依ル分ハ、餘程趣キヲ異ニシテ居ル、殊ニ監督權ノ關係、又會社ノ權利義務ノ關係ト云フモノガ、軌道條例ニ依ルモノニ付イテハ、法律デ一定シテ居リマセヌ、各會社各軌道ノ敷設者ニ對スルトコロノ命令書ニ依ヅテ、一々極メテアルノダ、之ニ對スル抵當法ヲ調ベルニ付イテハ、各命令書ノ條項ヲ一々照シ合セテ見ナケレバナラヌ、又現在ノ命令書ハ、其中ニヨロクノ規定ガアリマシテ、直チニ之ニ對シテ抵當ノ規定ヲ當嵌メルト云フコトハ、出來ナイモノガ多イヤウデアリマス、サウ云フ關係ガアリマスカラ、此鐵道抵當法中ニハ、縱シ此抵當ヲ許スニシテモ、規定スルコトガ出來ナイトナイト云フコトヲ決シテ申ス次第デハナイノデ、詰リ此點ニ付イテハ、各命令書ノ條項ナ

ドモ、一々調査致シマシテ、其命令書ノ條項ニ依ヅテ、直チニ一樣ノ法ヲ設ケ得ルヤ否ヤ、又ドレハ一様ノ法律ヲ設ケルコトが出來ルカ、總テ此等ノ點ニ付イテハ、十分ニ調査ヲ要スルコトニアリマスカラ、此議會ニ其調査ヲ結了致シテ、政府ノ意見ヲ決定スル上云フ場合ニハ參ラヌノデアリマシテ、ソレデ昨日モ議場ニ於テ、岡田君ノ御問ニ對シテ御答申シテ置キマシタ通、政府ハ軌道ニ付イテハ抵當ノ必要がナイト云フコトヲ決定致シテ居ルノデハアリマセヌ、此事ニ付イテハ、調査ヲ致シテ居ルノデ、尙調査ヲ續ケテ行ク考デアルト云フダケノ御答ヲ致シタ譯デ、岡田君ハ追窮ハシナイト言ハレマシタガ、隨分追窮ハサレタノデアリマス、追窮サレマスト、極ク確ナコトヲ申セバ、詰リ取調べ居ルト云フコトヨリ申サレヌノデ、對人的ノ御話トシテハ兎毛角モ、議場ニ於テ追窮致サレテハ、ソレマテノ御答シカ出來ヌノデアリマス、其邊テ御了承ヲ願ヒマス

○岡田治衛武君 唯今大軒ノ御説明デシタガ、詰リ亞、云フ御説明デアルト、マダ質問ノ範圍デアリマスカラ、之ヲ練シテ意見ヲ述ベルトキニ申シマセウガ、第一ニ本法ニ於テ會社ト稱スルノハ私設鐵道株式會社ヲ謂フ」トアルノデ、之ニ對シテハ私設鐵道法ニ依ル鐵道會社デアルト云フヤウナ意味ニ、政府委員ノ御説明デアル、ソレナラバ本文カラ少シ違テ居ラナケレバナラヌト私ハ思フ、私設鐵道會社ヲ謂フトスルト、鐵道法ニ依ル鐵道株式會社ト謂フトスウ云ハナケレバナラヌヤウニ思ハレル、併シソレハ修正ニナリマスカラ別段ニ申シマスガ、ソレデドウモ唯此私設鐵道株式會社ヲ謂フトシテアル以上ト云フモノハ電氣鐵道ヲ包含スルモ、何等ノ差支ハナイヤウニ本員ハ思フ、今ノ御説明デ見ルト命令ナドガ是トハ大變違テ居ルカラト云フコトデアリマスガ、ソレニ對シテハ命令が違テイコトハナリノデアリマス、ソレカラ調査ト云フ御話デアルガ、此調査ト云フコトハ、誠ニシケナイト云フナラバ、其法律ノタニニ命令ヲ變更スルコトハ爲シ得ルノデアリマス決シテ難ノハ來期マデト云フモノハ、一年猶豫ノ時日ガアル、一年猶豫ノ時日ガアルナラバ、責任ヲ以テ御答ナサレバ、一年間ニ調査が出來ヌト云フコトハナイノデアリマス、斯ウ云フ本員ハ感シテ致シマス、ソレハ唯極ク無味乾燥ニ、イヤ調査ト云フモノハ議員ナドハ干涉スルニ及バナイ、斯ウ云フコトデアレバソレマデ、アルガ、ソレハ不親切ナ譯デ、既ニ電氣鐵道ナルモノモ抵當權ヲ除ク譯テナイト云フ意味ガアルナラバ、一年間ニ之ヲ調査ヲ結了セラレヌコトハナイト私ハ信ズル、ソレデドウマツ其一年間ニ調査ヲシテ、次ノ通常議會ニ必ず提出スルト云フコトヲ明言シテ貰へ、此委員會モ誠ニ立派ニ且ツ速ニ通過スルノデアリマス「問題外」ト呼フ者アリソレハ問題外デハナイ、之ヲ含有セシムルカセシメヌカト云フコトニナル、私設鐵道株式會社ト云フコトニナツテハ、決シテ別デハナイ、電氣鐵道モ鐵道會社ニアツル、是ハ私設鐵道法ニ依ル私設鐵道會社ト云ヘ明ニ分ルガ、サウデナインコデドウカシテ此會期モ切迫シタコトデアルカラ、ソレハ一々勤メテ明カナル答辯ヲシテ戴キタイノデアリマス、サウスレハ本案ハ速ニ通過スル、若モ調査タキト云ウテ、調査ノ時期ヲ示サズシテ、調査ヲ口實トシテ期限ヲ定メシテ、之ヲ放任スルコトニナレバ、多々益々本員ハ質問ヲシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナリマスガ、今一ツ御熟考ニナツテハ如何デアリマスカ、是ハ政府委員ニ協議ヲ致スノデアリマス

○政府委員一木喜徳郎君 御親切ナル御忠告デゴザイマスガ、本官モ是ダケ御答ラ致シマス、調査ハ決シテ怠ラナイ、ソレダケデ、ドウゾ御満足ヲ願ヒマス  
○板東勘五郎君 岡田サンノ御質問ガ濟ミマシタカラ、私ハ前ノ質問ニ付キマシテ——先刻御説明デアリマシタ、登記ノ手續ヲ廢スルト云フ貴族院ノ修正ニ御同意サレマシタコトハ、御説明ノ通ニ、全ク實地ノ便宜カラ出タモノト承知シマス、又本員等ニ於キマシテモ、抑此鐵道ノ抵當法ヲ制定スルト云フコトハ、世間ニイロ／＼攻究問題トナリマシタトキニ於キマシテモ、登記ト云フ問題が一番簡單ナ問題、登記ト云フタメニ恐ラクハ進行ト云フコトモ遅クナツタコトデアラウト思フノアリマス、故ニ政府ニ於テモ、此問題ニハ餘程ノ審議ヲ盡サレ、苦心セラレタ結果ト思ヒマス譯デアリマスガ、長官ノ御説明モアリマシタ通、若シ立法ナリ學說ナリカフ云ヘバ、登記スルノガ宜イノデアル、サリナガラ實際ノ便宜カラ云フト、煩雜アルガ故ニ、登記ヲセズシテ、公告ニ變ヘタ譯デアリマス、果シテ之ガ存在ノ上ニ於テ、圓滿ニ運用シマスレバ、之ニ越シタコトハナイ、本員ハ此間ニ杞憂カ若クハ婆心カ知リマセヌガ、若モ之ヲ簡便ニシタト云フ結果デ、實行ノ上ニ種々ノ危險ナル問題が起シテ來ル、イロ／＼ノ蹉跌ヲ來スヤウナコトニナリ、從テ外資輸入等ニ對シテ、外人ニ不信ヲ抱カスト云フコトニナリマスレバ、折角簡便ニシタ法律ガ、勵キヲ爲ス範圍ガ狹クナル患ハアリマスマイカ、殊ニ又御説明中ニモ成ベク此時局ニ對シテ外資ノ輸入ト云フコトヲ速ニシタイト云フ以上ハ、法律ヲ簡便ニシタイト云フ御話ガアリマシタ、凡ソ外國人ガ日本ノ國ニ對シテ、資本ヲ投ズルコトハ、ドノ點ニ對シテ最モ注意シナケレバナラヌガ、法律ヲ簡便ニシテ却テ事實ニ於テ外資輸入ニ障害ヲ生ズルコトニナリハ重大ナ箇條ニアリマスガ故ニ、輕卒ニモ政府ヨリモ御提出ニナラナノイノデアル、然ルニ實際ノ便利ト云フ、簡單ナル意味ノタメニ、全然政府ガ御同意ニナリマスニ付イテハ、將來ノ結果ガ如何アラウト云フコトヲ心配スル譯デゴザイマス、一應其邊ニ就キマシテモ、御考ガアリマスレハ承リタイト思ヒマス  
○政府委員一木喜徳郎君 御尤ナ御註文デゴザイマス、此點ハ前ニモ申シマシタ通、餘程政府ニ於テモ慎重ニ考ヘマシタノデゴザイマス、ソレデ、唯今ノ御心配ハ誠ニ御尤ナ御心配ト存ジマスルガ、併ナガラ貴族院ノ修正ノ結果ト致シマシテ、却テ抵當權者ノ不確實ナモノニナルヤウナ虞ハナイト、認メマシタノゴザイス、元來此鐵道ニ付イテ、最モ重モナルモノハ、鐵道ノ用地デゴザイマス、此用地ハ大抵收用法ノ適用ヲ受ケ、若クハ地方ニ依リマシテハ、總ア會社ニ任意ニシテ居ルモノデ、重立ッタ會社ニナリマス、外資ノ輸入デモシヤウト云フ會社ニナリマスレバ、此上ニ種々ノ他人ノ權利が存シテ居ルト云フヤウナ場合ハ、極メテ例外ノ場合ト云シテモ宜カラウト考ヘマス、尙其外鐵道用地以外ノ土地ニ至リマシテモ、此土地が他人ノ目的ニナツテ居ルト云フヤウナコトハ、寧口稀ナ例デアリマス、唯稀ナ場合ニアリマシテモ、法律ニ規定シマスル際ニハ、ソレヲ見ナイト云フ譯ニイキマセヌノデ、段々豫定地ノ手續ヲ設ケテ、是等ノ權利ノ新ニ土地ニ附イテ參ルト云フコトヲ豫防スルト云フ考定メマシタノデアリマス、ケレドモ併ナガラ實際カラ申シマスルト、是ハ餘リ澤山ナル場合ニアリマス、サウ云フ澤山モナイモノデアルト致シマスレバ、第四條ノ公告ノ手續ニ依リマシテ、其權利ノ有無ヲ確メマス、ソレニ依ヅテ確マリ

○奥田義人君 私ハ少シク此實際運用上ノ事ニ付イテ、一二三政府委員ニ御尋シテ見タイト思フコトガアル、第一ニハ本案ノ第二條ニ依ヅテ見マスト、一會社ニシテ數個ノ鐵道財團ヲ設ケルコトガ出來ルヤウニナツテ居ル、即チ鐵道全部、又ハ一部ニ付イテ財團ヲ設ケルコトヲ得ル如クニナツテ居ル、而シテ第三條ニ依ヅテ見マスト、鐵道財團ヲ組成スルトコロノ總テノ物件ガ列舉シテアル、此場合ニ於テ、數個ノ鐵道財團ヲ設ケマストキニハ、例ヘバ甲ノ鐵道財團ニ屬スル工場トカ、車輛トカ、乙ノ財團ニ附屬スル工場トカ倉庫トカ、若クハ車輛ト云フヤウナ工合ニ分ケテ往カヌト、此鐵道財團ハ區別ガ付カヌコトニナルト思ヒマスガ、サウ云フモノガ、實際ニ於テ出來得ルノアリマスカ、甚ダ私ハ疑フノアリマス、其邊ノ運用ハ如何ニ御定メニナル積デアルカ、ソレカラ又此列記シテアリマスル、各號ノ中ニ申シテ見マスト、保線ニ要スル材料器具機械ナドト云フコトガアル、凡ソ鐵道會社ニ保線ニ要スル器具機械ト云フモノハ、別段ニ倉庫ニ入レテ置クト云フコトハ事實ニナリ、種々難多ノモノト一緒ニ倉庫ニ入レテ置クト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フヤウナ時ニハ、其倉庫ニ包含シテ居ル、總テノ材料ノ中ニ、保線ニ要スル器具機械ダケヲ取除イテ此財團ヲ組織スル一部分トスルト云フ御見入デアリマスカ否ヤ、ソレカラ第三條ノ規定ハ、鐵道財團ヲ設定スルトキニ、現在ノ材料バカリニアラズ、將來收得スルトコロノ各種ノ材料モ、此個條ヲ以テ包含シテ置クト云フ御見込デアリマスカ、ソレカラ十九條ヲ見マスト、「抵當權者ハ鐵道財團ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得」トアル、抵當債權者ハ、此場合ニ於テ鐵道會社ニ收入ニ付イテハ、優先權ヲ有タセヌ、斯ウ云フ精神ノヤウニ思ハレマスガ、單ニ鐵道財團ニ屬スル物ハ、此處ニ列記シテアルカラ、此處ニ列記アルモノニ付イテ、優先權ヲ有タシメテ、收入ニ關シテ何等ノコトモ規定シテナイが、ソレデ實際外國ノ資本ヲ入レル場合ニ於テ、御差支ガナイト云フ積、アリマスカ、其邊ノ運用が私ニハ了解が仕兼不マス、ソレカラ第二ニハ、此抵當權ノ順位ニ之定メテアル、恐ラク此法律ノ精神デハ民法ノ抵當權ノ規定ハ、此鐵道財團ニ付イテハ一切當籍メ、又此法律ニ依ヅテ總テ支配ヲスル、斯ウ云フ精神ノ規定セラレタモノデアラウト思フ、サウスルト例ヘバ、民法ノ先取特權ト、此抵當權ト抵觸シタ時ニハ、如何ナル順位ニ依ヅテ執行ナサル御積デアルカ、其邊ヲ承リタリ、ソレカラ第二十六條ヲ見マスト、「抵當權設定後二十年又ハ、据置年限ヲ經過シタル時ハ、代價ニ付債務ヲ辨濟スルコトヲ得」トアル、サウスルト假リニ契約ガ三箇年ノ据置ノ年限ニ出來テ居ル、ソコテ政府ガ此鐵道財團ニ屬シテ居ル鐵道ヤ、附屬

物件ヲ買上ゲマシタトキニ、既ニ三箇年ノ据置年限ハ經過シア居ツタト云フトキニ、一時ニ其債務ヲ辨済シヤウト云フコトハ、政府デナシ得ルカ、斯ウ云フヤウナ解釋が出來得ルテアリマスガ、外國ノ資本家ナドハ申スマデモナク、長イ年期ヲ以テ多クノ資本ヲ貸付ケル、然ルニ政府が買上ゲタ時ニ、僅ニ据置年限が經過シテシマッタナラバ、直チニ全部ノ債務ヲ政府カラ辨済セラレテシマフト云フコトニナルト、外國ノ資本家ハ隨分是ガタメニ危險ノ思ヲ爲スデアラウ、不安ノ思ヲ爲スデアラウト思フ虞ガアル如クニ考ヘマスガ、其邊ハドウデアラウ、一應承ツテ置キタイ

○政府委員 木喜徳郎君 第一ノ問題ハ、第二條ニ關聯シタ問題デヨザイマシテ、鐵道ノ一部ニ付イテ鐵道財團ヲ設ケマス場合ニハ、勿論線路デアルトカ用地デアルトカ、斯ウ云フ其部分ニ當然屬シテ居ルモノニ付イテハ、何等疑ガゴザイマセヌガ、其他工場トカ倉庫トカニ付イテハ、何レニ屬スルカト云フコトハ、極メナケレバナラヌコトハ、唯今御質問ノ通アリマス、ソレヲ極メマスニ付イテハ、鐵道財產目錄が何レノ物が何レノ部分ニ屬シテ居ルカト云フコトヲ極メマシテ、ソレニ依シテ、當事者間契約ヲ致シ、又主務官廳ノ認可ヲ受ケマス場合ニモ、主務官廳ハ果シテ是ダケノ物ヲ以テ、鐵道ノ運轉が出來ルヤ否ヤト云フコトヲ見マシテ、此部分ニ對シテ是ダケノモノガアレバ運轉が出來ルト云フ見込デアリマスレバ、萬一競賣ニセラレテモ是ダケデ、獨立デ鐵道ノ用ヲ爲スコトが出來ルト見マスレバ、認可ヲ與ヘルト云フ考デアリマス、鐵道當局者ノ契約ト主務官廳ニ依ツテソノ範圍ヲ定メルノデアリマス、實ハ範圍ヲ明確ニスルト云方カラ申シマスレバ、鐵道ノ全部ハ必ズ財產トスルト云方が明確ニナリマスケレドモ、併シ當事者ノ便利カラ申シマスルモノハ、處分ヲ致シマス際ニ、抵當權者ニ面倒ガアリマスカラ、一部ヲ抵當ニススト、一部ニ付イテ許スノが便利デアラウ、資本ヲ借入レル金額ニ據リマシテモ、全部マデ抵當ニ入レテ、從ツテ財產ノ變更ヤ何カニ付イテ、種々面倒ナ手續ヲ經、又ハ其鐵道ニ屬シマスルモノハ、處分ヲ致シマス際ニ、抵當權者ニ面倒ガアリマスカラ、一部ヲ抵當ニスレバ、金ヲ借入レルト云フ場合ニハ、許シク方が便利デナイカト云フ考カラ、全部又ハ一部ト規定致シマシタ、ソレカラ保線ノ材料是ハ成程實際ニ於キマシテ、同ジ倉庫ニ他ノ物ヲ入レテ置クト云フコトモゴザイマセウ、詰リドレタケノ保線材料ガアルカ、器具機械ガアルカト云フコトハ、詰リ財產目錄ニ據リマシテ、確メルノデアリマス、其實際ニ入レテ居ル場所ハ、何レデモ問ヒマセヌが、詰リ財產目錄ニ依シテドレタケケ……

○奥田義人君 チヨット御中言デスガ……サウスルト保線ニ要スル材料例ヘバ、釘トカ金槌トカ云フヤウナモノマデ、一々皆ナ書キ上ゲサセルト云フ御精神、アルカ、或ハ總括シテ保線ニ要スル材料器具機械ト云フモノデ御濟シナル御積デアルカ

○政府委員 木喜徳郎君 先ツ唯今ノ考デハ、財產目錄ハ細カナコトハ一々書ケマスマイガ、兎ニ角變更位ノコトハ書ケヌコトハナカラウ、變更ト申シテ、日タノ變更ハ書クニ及ビマセヌガ、或ハ一年ニ一回トカニ回トカ云フ變更ヲ、取纏メテ書キ出セヌコトハナカラウト思ジテ居リマス

片方カラ買入レテ往クモノニアリマス、詰リ終始循環ヲシテ往クヘキ性質ノモノニナゾ居リマス、サウスルト使シテ往ク度毎ニ、又買入レル度毎ニ目錄ヲ變更シナケレバナラヌト云  
フ手數ヲ生ズルト考ヘマスガ、ソレ等ハ御説明ノ如ク、一箇年ナラ一箇年、半季ナラ半季  
ニ限シテ、現在ノ在高ヲ財産目錄ニ書上ゲレバ宜イト云フ御考デアリマスカ  
○政府委員一木喜徳郎君 サウディス、サウエーフ風ニ致ス外ナカラウト思ヒマス、ソレカラ  
尙收入ニ對スル優先權ヲ持タセルヤ否ヤト云フ御尋デアリマスガ、是ハ御想像ノ如ク收  
入ニ對シテハ、別ニ抵當權者ニ優先權ヲ持タセナイ考デアリマス、此點ニ付イテハ、別段

是が外資輸入ノ差障リニハナラヌト考ヘマス、詰リ鐵道ヲ運轉シテ參ル場合ニ、例ヘバ競賣ニデモナルヤウナ場合ニハ、イヅレ現在ノ金錢トカ云フヤウナモノハ餘り當テニナラズノ  
デ、資本ハドウシテモ之ヲ入レテ運轉シテ往カナケレバナリマセヌ併シ其運轉シテ往クダケ  
ノ設備ガ備ツテ居ラナケレバ、差支ヘマスカラ、設備ハ屬スルモノヲ一括シテ財產トスル、  
是ニ對シテハ、他ノ權利ハ行ハヌコトハ致シマシタ、ソレカラ收入ノコトハ、若シ債務者ガ  
其義務ノ履行ヲ怠ル場合ニ、強制管理ヲスレバ、收入ハ抵當權者ニ交付スルコトニシ  
テ、其他ノ收入ニ付イテハ、別ニ優先權ヲ持タセナクテモ差支ナイ見込デアリマス、ソレカ  
ラ先取特權ノ關係デアリマスガ、是ハ實ハ餘程苦ミマシタ問題デアリマスケレドモ、是ハ  
先取特權ト申シタトコロガ、ヤハリ一部分ニ對スル先取特權デアツテ、鐵道財團全  
躰ニ對シテハ、民法ノ規定ハ先取特權ヲ持ベキ場合ハナカラウト思ヒマス、鐵道財團ヲ  
設定シタ以上ハ、是ハ抵當權ヲ持ツテ居ルモノニアリマスカラ、抵當權ニ對シテ優先ノ權  
ヲ與フルト云フコトニナリマス、又是ハ斯ウシマセヌト、僅カナ一部分ニ對シテハ、先取特權  
ノタメニ、抵當權者ガ大ナル害ヲ受ケルヤウナコトガアリマスカラ、已ムヲ得ズ抵當權者ニ  
優先ノ權ヲ與ヘヌ次第アリマス

○奥田義人君 其箇條ハドノ箇條デスカ、明ニ御示シヲ願ヒマス

○政府委員一木喜徳郎君 詰リ修正ノ十七條ノ規定デス

○奥田義人君 コレデ總テ網羅シテシマウト云フ御考デスカ

○政府委員一木喜徳郎君 サウデス

○奥田義人君 サウスルト是ハ鐵道財團デアリマスガ、鐵道財團ノ何物カ先取特權ヲ  
有シテ居ル者ガアツテモ、此箇條デ鐵道債權者ガ優先權ヲ持ツ云フコトガ明カニ……

○政府委員一木喜徳郎君 中ニ對スル權利ノコトハ、四條デ明ニナシテ居リマス

○奥田義人君 サウスルト御承知ノ通、先取特權ハ法律上當然物權トナシテ居ルモノ  
デアルガ、此物權ノ目的ト爲スコトヲ得ズト云フノハ、本人ノ任意ニ依シテ爲スコトヲ得  
ナイト云フ意味デナクシテ、法律上當然物權ト爲スコトヲ得ズト云フ中ニ、含蓄シテ居ル  
ト云フノデスカ

○政府委員一木喜徳郎君 サウデス、ソレカラ次ノ据置年限ノコトデアリマスガ、是ハ  
契約デ据置年限が極マツデ居レバ、金ヲ貸スモノモ、其年限以後ニ於テハ、辨濟サル、  
ノ豫想シテ居タモノト見ナケレバナリマセヌカラ、此場合ニ於テ政府が買上ゲテ債務ヲ  
辨濟シテモ、ソレガタメニ抵當權者ハ別ニ不利益ヲ受ケルコトハナイノデ、又是ガ外資輸  
入等ノ妨ニモナラヌト思ヒマス、二十箇年ト云フコトニ貴族院デ修正ヲ加ヘタノハ、唯今

心シテ資本ヲ投ズルコトハ望マレヌト云フトコロカラ、二十箇年ニ直シタノアリマス  
○奥田義人君 其點ハ大變宜カラウト考ヘマス、「又ハ」トナツテ居リマスカラ、政府ノ隨意デ、例ヘバ据置年限カニ箇年ノ契約ニナツテ居ル、サウ云フヤウナ場合ニ、三箇年ヲ経過シテシマツタナラバ、直ニ債務ヲ辨濟スルコトガ出來ル、ドチデモ出來ルヤウニ見エマスナ

○政府委員一木喜徳郎君 サウデス、据置年限中ハ是マテ返スコトが出來ヌト云フノデスガ、是デハ何時モ返セルトシテ居ルノデス、サウ云フ場合ニ於テハ、當事者ハ初メカラサウ云フ考デ居ルノデスカラ、別ニ政府が買上ゲタ場合モ辨濟シテ差支ナイト思ヒマス

○奥田義人君 今一つ先刻質問ヲシテ置キマシタ、將來收得シタル分ト云フノハ、是

ハ第三條デ包含ヲスルト云フ御精神デズカ

○政府委員一木喜徳郎君 第二條デ是等ノモノハ將來收得シタモノデモ、鐵道財團ヲ加ハルベキモノデアルト云フ意味ハ、包含シテ居ル次第ニアリマスガ、尙貴族院デ修正ヲ新ニ加ヘタ十一條ノ一項、之ト同ジ規定デ往キマス

○奥田義人君 サウスルト、始終此機械ナドハ輾轉シテ居リマス場合ハ、修正ノ十九條デスナ、之ニ依テ見ルト「抵當權ハ鐵道財團又ハ之ニ屬スルモノノ讓與貸付滅失又ハ毀損ニ因リテ會社が受クヘキ金錢其他ノ物ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得」トスウ云フコトニナツテ居ル、是ハ詰リ代理權ヲ定メタモノニアラウト思ヒマスガ、始終中ノ變ハッテ居ルモノガアル、其變シタトコロノ器具機械ハ、鐵道財團ノ中ニ當然這入り、其上ニ尙代理權ヲ持タセント云フ精神ニアリマスカ

○政府委員吉村源太郎君 十九條ノ抵當權ハ、財團ノ中ニ將來新三屬スペキモノニ對シテ、抵當權ヲ行ヘル上ニ、尙附加ヘテ鐵道財團ヲ讓渡シ貸付ケルモノノ上ニモ、二重ニ行フコトが出來ルト云フ精神ニアリマス  
○奥田義人君 一方ニ於テ新ニ買取タトコロノ、機械デアルトカ器具デアルトカ云フヤウナモノハ、當然這入ルノデスナ、其上ニ古イモノヲ買取タ代價ニ付イテ、代理權ヲ以テ執行スルコトが出來ル、斯ウ一重ニナルノデスカ

○政府委員吉村源太郎君 サウデス

○板東勘五郎君 私モ財團ノ組織ニ付イテ一應承シテ置キタイト思ヒマスガ、實際ノ運用上ノコトニアリマスナ、先刻モ御答ガアツタ鐵道財團ト云フモノハ、全部デナクシテ一部ニ財團ヲ設クルコトヲ得、其一部ニ對シテ財產上ニ列記シテアル諸物件ヲ包含スル、其仕方ニ付イテノ御説明モアリマシタガ、其説明中ニ一部分ノ線路ヲ以テ一ツノ財團トスレバ、其線路ニ對シテノ營業上ニ支へガナイ、獨立營業ガ爲シ得ラレルコトニナセバ宜シイト云フ、サウ致シマスレバ、汽罐車貨車、總テノ物ハ之ニ添ハナケレバナラヌト云フコトハ明カデ、ソレガ目的物ニナルト思ヒマス、然ルニ或場合ニ於テ一部ヲ一財團トシタ時ニ、其線路以外ニ於テ線路ノ動キニ必要ナル工作物等ノアル場合ガアル、或ハ汽罐車ヲ修繕スル工場トカ汽罐車デアルトカ汽罐車デアルトカ云フ如キモノハ、必ズシモ設定シタ財團ヲ線路中ニ限ラナイ、其外ニモアル支線ヲ以テ財團トスレバ、本線ニ附屬スルノガ、支線ヲ走ル汽罐車ノ修繕ナリ、其他ノ仕事ヲナスベキ造營物ノアルノハ、本線ノ方ニアル、斯ウ云

フモノニナルト、線路ヲ以テ一ツノ財團ト區劃スルコトが出來ナイ、斯ノ如キ汽罐庫ニアルトカ、汽關車ヲ直ス製造場デアルトカ、材團ニ屬セナイ場合ハ、ソレハ債權者ノ合意デスが、是コトニナリマセウガ、ケレドモ今御話ノヤウナコトニ付イテ考ヘマスレバ、必ズソレガ備ニテ居ラケレバ、鐵道ノ用ヲナサムトマデハ認メマセヌ、サウ云フモノハ必ズシモ加ヘナクテモ、ソレヲ除いて財團ヲ構成シテ構成ハナイ、此支線ヲ以テ一財團ト致シマス場合ニ、其支線ノ用ニ供スルモノヲ本線ノ方ノ工場ニ於テ拵ヘマスコトハ實際差支ナイ考ヘテ、ソレハ別ニ禁ジマセヌ

○板東勘五郎君 其工場ハ財團ノ中ニ這入リマスカ

○政府委員一木喜徳郎君 這入リマセヌ、ソレカラ其線路ノ場合、是ハ全部一財團トナツテ居ルヤウニ明確ニ參リマセヌ、併ナガラ汽罐車ノ一號カラ何號迄ト云フモノガ支線ニ屬シテ居ル場合ニ、一號ハ壞ハレタ、之ニ代ヘルタメニ更ニ汽罐車ヲ買入レタ、此時ニハ自カラ此財團ニ屬スルモノト認メマス、併シ全部一財團トナシタ如クニ明確ニ參リマセヌ

○板東勘五郎君 唯今ノヤウナ御話ニ依ルト、例ヘバ少ナイト借リル時分ニ、營業上ニ屬スル總テノ物件が備ニテ居ナイ、斯ウ云フモノニナルト詰リ獨立ノ營業ハ出來ナイ事實ニナル、ソレハ全ク債權者が承知シマスレバ、干涉セヌト云フ意味ニ承知スレバ宜シイノデスカ

○政府委員一木喜徳郎君 サウ云フ意味デハナイ、鐵道營業ニ缺ク可ラザルモノト認メタ場合ハ、ソレガナケレバ財團ヲ設立スルコトヲ許シマセヌ、工場ノ如キハ人ニ賴シテ大キナ工場ヲ拵ヘタコロガ、必ズシモ鐵道營業が出來ヌト云フコトニハナリマセヌ、サウ云フ類ノモノハ鐵道營業ニ缺ク可ラザルモノト認メヌノデアリマス、全部ヲ抵當スル場合デモ、一號ヨリ七號ニ至ル總テノモノノ備ニテ居ルモノモアル、或ハ此中ニハ缺ケテ居ルモノモアル、殊ニ發電所配電所ノ類ハ、或鐵道ニハ缺ケテ居ルモノモアリマス、工場ノ如キモ自分ノ所デ總テノ必要ナモノヲ拵ヘルト云フモノモゴザイマセウシ、或ハ又自分ノ工場デハ間ニ合ハヌト云フモノモアリマセウ、サウ云フ或鐵道ニ備ニテ居リ、或鐵道ニハ缺ケテ居テモ、鐵道營業ガソレガタメニ差支ヲ生ゼヌト云フ場合ハ、強テ加ヘナクテモ設定ヲ許スモアリマス

○板東勘五郎君 今ノ御答ノ工場ト云ヒ、又ハ大ナル修繕ヲナシテ特別ノ設置ヲ要スルモノハ、サウデモアリマスケレドモ、汽罐車ノ如キモノハ殆ド日日ニ繕ヒラスル、イロイロ掃除等ヲスルタメニ要スル工作物ハ、是ハ營業ニ缺クハカラザル性質ノモノト私ハ思フ、然ルニソレラ全然取ツテシマツテハ、殆ド機關車が出來爲シテモ、線路上ニ於テノムトコロモノナケレバ、小破修繕ヲスルトコロモナイ、全ク營業ヲスル上ニ於テ支ヘヤウト思フ、サウスレバソレ等ノ設備ハ一財團ノ中ニ入レナケレバナラヌコトニナリハスマイカ、若シソレ等ノ設備ノ工作物が本線ニアリテ、財團ヲ目的トシタ支線ニナイ場合ニハ、支ヘハシナイカト云フ

考デアリマス

○政府委員山之内一次君 唯今板東君カラ御話ノヤウナノハ、大抵獨立シテモ營業ヲ出來ル部分ニハ小破修繕ヲスル所ハ何處デモ備ハシテ居リマス、事實ニ於テ今一本政府委員カラ答ヘタ方針デ往ツテ、少シモ差支ナイ積デアリマス、御話ノヤウナ極ク小サイ修繕ヲスル、鍛冶屋ノヤウナモノハ、獨立ラシテ營業ヲスル所ニハ、大抵備ハシテ居ルヤウニ思ヒマス

○板東勘五郎君 是マデノ鐵道ガ、財團ヲ作ル目的ヲ以テ鐵道ハ敷イテアリマセヌカラ、今茲ニ一ツノ鐵道ノ或ル線路ヲ切ツテ、財團ヲ作ル場合ハ必ズソレ等ノ設備ガアルモノトハ、私ハ事實ニ認メラレナイ、財團ヲ作ルニハ必ス五十哩トカ七十哩トカデナケレバ、財團ヲ作ルコトハ出來ナイトスレバ、其中ニ設備ガアルカモ知レヌ、併ナガラ債權ニ對スル金額ノ多少ニ依ヅテ、小サイ財團ヲ作ルトスレバ、其本線ニハソレ等ノ營業ノ設備ガ備テ居ルカモ知ラヌ——一會社トシテハ備ツテ居リマセウケレドモ、一會社ヲ分割シテ線路ニ對シテ、必ズ備ハシテ居ルト云フコトハ、ドウモ私ニハ認メラレナイ

○政府委員山之内一次君 ソレハ初メ一本政府委員カラ御話シ申シタ通、獨立シテ營業ノ出來ルヤウナモノデナケレバ、獨立ノ財團ハ初メカラ許シマセス、ドウシテモサウ云フモノガ短カクテ備ハラナイタメニ、獨立營業ノ出來ナイモノナラバ、初メカラ許サヌ積デアリマス、一部ヲ許シテモ其一部が將來競賣ニデモナシテ、獨立シテモ自分ノ營業が出來ルト認メ得ルモノデナケレバ許シマセス

○委員長望月右内君 先づ此位ニ止メテ置イテ、次ニ又残リノ質問ヲスルヤウニ致シマス

午後零時三分散會

明治三十八年二月二十二日印刷

明治三十八年二月二十三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局